

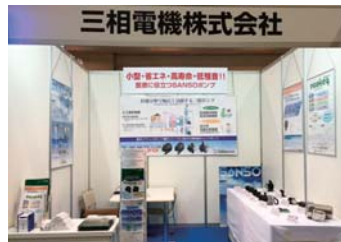
トピックス

展示会出展

インテックス大阪で開催された医療機器開発・製造の展示会へ出展しました。

当社からは小型で省電力、長寿命、低騒音のDC（直流）ブラシレスポンプを出展し、医療機器メーカー様から高い注目を集めました。

約10年前に医療分野に参入し、人工透析装置や全自動内視鏡洗浄消毒装置などに使用されております。展示会に出展することでお客様のニーズを把握し、新規顧客の開拓や新規用途の開発を進めております。



メディカルジャパン2016
医療機器開発・製造展

会社概況

(平成28年3月31日現在)

商号	三相電機株式会社
設立	昭和32年10月11日
資本金	8億7,160万円
従業員数	539名（連結）
事業内容	小型モータおよび小型電動ポンプの製造・販売、金型の製造・販売

株式の状況

(平成28年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	36,000,000株
発行済株式の総数	9,143,200株
株主数	516名
1単元の株式の数	1,000株

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

(0120)782-031
(URL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。
http://www.sanso-elec.co.jp/japanese/ir/ir_koukoku.html

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

三相電機株式会社

〒671-2288 兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号
TEL(079)266-1200 FAX(079)266-1206
URL <http://www.sanso-elec.co.jp/>

株主のみなさまへ

第59期

株主通信

平成27年4月1日～平成28年3月31日



代表取締役社長 黒田直樹

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2015年度（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらないご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

 三相電機株式会社

証券コード 6518

営業の概況

業績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、政府による経済再生と財政再建に向けた取り組みや、日銀の金融緩和策を背景に、年度後半は円高傾向で推移したものの、通年では円安・株高が進み、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、個人消費は消費増税後の落ち込みから抜け出しつつありますが、物価上昇に伴う実質所得の減少を背景に回復の動きはもたつき、円安による輸入コストの上昇および新興国の景気減速などの要因もあり、企業収益は改善が見られるものの、本格的な景気回復までには至りませんでした。

当社グループにおいては、中国市場では空調設備の需要の伸びが徐々に鈍化したものの、日本市場では企業の設備投資が底堅く推移したことで、半導体製造装置用ポンプや工作機械装置用モータなどでは受注は堅調に推移いたしました。利益面においては、新製品による収益改善効果があったものの、円安による輸入材の高騰がコストを押し上げる要因となり、引き続き厳しい経営環境が続くこととなりました。

このような事業環境の中、お客様の要望にきめ細かく対応することで顧客満足度の向上を図るとともに、新製品であるプレミアム効率モータの拡販や、プレミアム効率モータを採用したポンプの量産を行い、新規受注に向けた営業活動を推進してまいりました。また、ポンプ応用技術を活かしたシステム商品の開発を進めております。更に、販売価格を見直し収益改善を図るとともに、部品

加工の内製化や生産性の向上、幅広い原価低減を進め業績向上に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は133億83百万円（前期比99.6%）、営業利益は5億26百万円（同112.5%）、経常利益は6億13百万円（同112.6%）となりました。また、国内生産拠点の統廃合にかかる費用70百万円を事業構造改革費用として特別損失に計上した一方、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額に△2億70百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は6億63百万円（同161.3%）となりました。

今後の取り組み

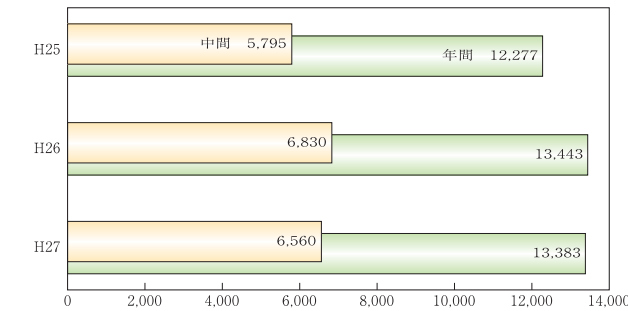
今後の業績見通しといたしまして、海外経済の減速影響を受け、企業の現況には足踏みが見られ、足元の円安水準が持続すれば、企業業績の下振れリスクが想定され、依然として楽観視できない状況が続くものと考えられます。

当社グループにおいては、環境に適合したエコロジー商品に注力し、省エネルギー、高効率のモータとポンプの製品開発を進め、他社製品との比較優位性を強みとした営業活動や、市場が求める省エネルギー商品の提案で企業競争力の強化を図ってまいります。また、平成28年4月1日付で株式会社岩谷電機製作所の全株式を取得し、新規連結子会社にしたことで生産・販売の効率化をより一層推進し、グループ一丸となって業績の向上に取り組んでまいります。

連結業績の概要

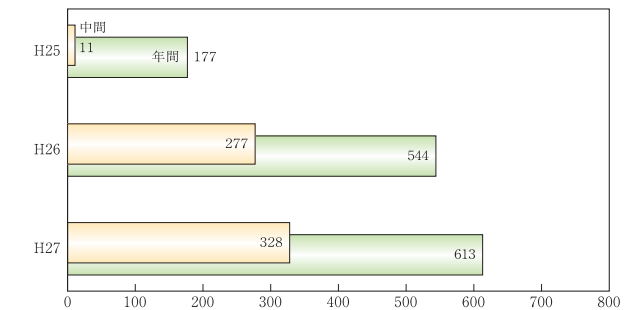
売上高

（単位：百万円）



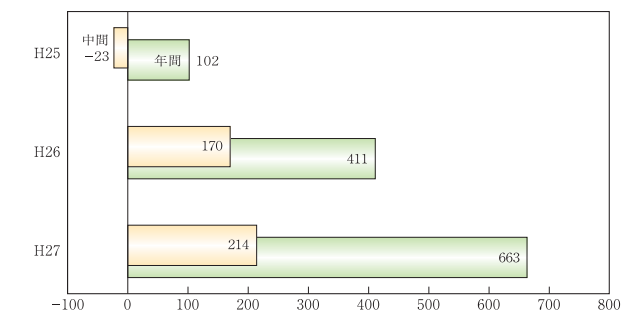
経常利益

（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



要約連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	（平成28年3月31日現在）
資産の部	
流動資産	9,394
固定資産	4,473
有形固定資産	3,426
無形固定資産	83
投資その他の資産	963
資産合計	13,867
負債の部	
流動負債	4,319
固定負債	2,571
負債合計	6,891
純資産の部	
株主資本	6,702
資本金	871
資本剰余金	1,825
利益剰余金	4,046
自己株式	△40
その他の包括利益累計額	273
純資産合計	6,976
負債純資産合計	13,867

要約連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）
売上高	13,383
売上原価	11,018
売上総利益	2,364
販売費及び一般管理費	1,838
営業利益	526
営業外収益	142
営業外費用	55
経常利益	613
特別利益	0
特別損失	71
税金等調整前当期純利益	541
法人税、住民税及び事業税	149
法人税等調整額	△270
親会社株主に帰属する当期純利益	663